



キミと一緒に、育っていききたい。
Komaki

KOMAKI SHIGIKAI DAYORI

こまき 市議会 だより

No.174 発行／小牧市議会
平成28年8月1日

- 議員提出議案3件（小牧市議会の議決すべき事件を定める条例ほか2件）を含む16議案を可決 2・3
- 18人の議員が一般質問を実施 6～11
- 特集
「議会報告会と市民の意見を聴く会」のまとめ
.... 14～16

*ホームページ

小牧市議会

検索

<http://www.city.komaki.aichi.jp/shigikai/005625.html>

★表紙写真の募集をしています。



ゆう友せいふでの七夕飾り（7月5日撮影）

第2回定例会

第2回定例会は、6月9日から6月29日までの21日間を会期として開催し、条例案6件をはじめ、一般議案3件、補正予算案1件、諮問3件、議員提出議案3件の合計16議案を審議しました。
上程された主な議案と審議結果は次のとおりです。

条 例

▽小牧市中小企業振興基本条例の制定

この条例は、小規模企業を含めた中小企業の振興についての基本理念を定め、市、中小企業者、小規模企業者、小牧商工会議所等の責務等を明らかにし、これらが相互に協力するとともに市の中小企業の振興に係る施策の基本となる事項を定め、これを総合的に実施することにより、もって中小企業の振興、地域社会の発展及び市民生活の向上に寄与することを目的に制定されるものです。

▽小牧市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

堀の内体育施設の立地箇所を含めた一帯を(仮称)史跡セントアーなどに整備するため廃止するものであります。平成28年12月1日から施行されます。

一 般

▽給食用食器の取得

小中学校で使用する給食用の食器4万7400点を取得するものです。取得金額は、3772万8504円です。

補正予算

平成28年度一般会計補正予算は、総額が533億5887万3000円となりました。
主なものは次のとおりです。

- ・認定こども園整備費補助金 7600万円
- ・予防接種事業 2075万9千円
- ・障害者施設整備費補助金 2000万円

諮 問

▽人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員稲垣ヒロ子氏の任期満了(平成28年9月30日)に伴い、後任候補者として引き続き同氏を推薦することに異議ない旨答申しました。

人権擁護委員渡邊照美氏の任期満了(平成28年9月30日)に伴い、後任候補者として引き続き同氏を推薦することに異議ない旨答申しました。

人権擁護委員後藤全弘氏の任期満了(平成28年9月30日)に伴い、後任候補者として水無瀬量瑞氏を推薦することに異議ない旨答申しました。

表 彰 状

第99回東海市議会議長会定期総会(4月21日、於岐阜市)及び全国市議会議長会第92回定期総会(5月31日、東京都)において、次の方が市議会議員として永きにわたり市政発展に寄与された功績により同会会長からそれぞれ表彰を受けられました。

▽水谷 勉 前議員(20年)

意見書の提出

議員提案した2件の意見書を本会議において原案のとおり可決した後、関係機関へ提出しました。

▽無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

▽食品ロスの削減に向けての取組を進める意見書

(提出先) 内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)



第2回定例会

(諮問を除き、結果の記載がないものについては、亡くなられた丹羽議員及び
病氣療養のため欠席した稲垣美佐代議員を除き全員賛成した議案です)

◇上程議案と審議結果◇

◇条 例 案……7件

●議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例及び市長の選挙におけるビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定 ●市税条例の一部を改正する条例の制定 ●中小企業振興基本条例の制定 ●児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定 ●スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定 ●議会の議決すべき事件を定める条例の制定
※病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定……………可決(賛成多数)

◇一 般 議 案……3件

●消防ポンプ自動車の取得 ●給食用食器の取得 ●道路線の認定

◇平成28年度補正予算案………1件

●一般会計補正予算(第1号)

◇諮 問……3件(6月9日に採決を行い、病欠欠席による1名を除き全員一致で答申しております。)

●人権擁護委員候補者の推薦 ●人権擁護委員候補者の推薦 ●人権擁護委員候補者の推薦

◇意 見 書 案……2件

●無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書の提出 ●食品ロスの削減に向けての取組を進める意見書の提出

表決結果の分かれた議案(上記「※」の議案です。)

第2回定例会	牧 政 会								政道クラブ		日本共産党 小牧市議団		市民クラブ		公 明 党 小牧市議団			無会派							
	長田	稲垣	河内	鈴木	小島	舟橋	玉井	船橋	澤田	熊澤	谷田員	野々川	稲垣	佐藤	安江	西尾	小川	小沢	稲垣	加藤	橋本	高野	木村	船引	
	淳	守	伸一	英治	倫明	秀和	宰	厚	勝巳	一敏	将典	嘉則	美佐代	大輔	美代子	貞臣	真由美	国大	杢子	晶子	哲也	達夫	哲也	嘉明	
病院事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※表示は、「○:賛成」、「×:反対」、「退席」、「欠席」です。
※賛否の分かれたものの結果については、議員からの申し出に基づき掲載しております。
※議長は、通常、採決には参加していませんが、採決の結果、可否同数の場合にのみ態度を表明できます。

小牧市議会の議決すべき事件を定める条例

小牧市議会では、平成28年6月議会において地方自治法第96条第2項及び議会基本条例第11条の規定に基づき、議会で議決する事件を定めました。内容は次のとおりです。

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第96条第2項の規定に基づき、別に条例で定めるものを除くほか、議会の議決すべき事件について定めるものとする。

(議決すべき事件)

第2条 次に掲げる事件については、議会の議決を経なければならぬ。

(1) 市民憲章の制定、変更又は廃止

(2) 都市宣言(市の重要な課題等について、市の意思及び方針を宣明し、市政の方向付けをするものをいう。以下同じ。)の制定、変更又は廃止

附則

(施行期日等)

1 この条例は、公布の日から起算して、

2

この条例は、この条例の施行の日以後に制定、変更又は廃止をする市民憲章又は都市宣言について適用する。

(小牧市都市宣言の議決に関する条例の廃止)

3 小牧市都市宣言の議決に関する条例(平成26年小牧市条例第32号)は、廃止する。

委員会の審査報告

主な審査内容と結果をお知らせします。

総務委員会

小牧市市税条例の一部を改正する条例の制定について

問 個人市民税について、前年中に健康の保持・増進及び疾病の予防への取組とあるが、どのようなものか。また取組に対して、証明はどのようにするのか。

答 予防への取組は、健診等または予防接種を受けていることを要件とし、

- ① 特定健康診査。(メタボ健診)
- ② 予防接種。
- ③ 定期健康診断。
- ④ 健康診査。(人間ドック)
- ⑤ がん検診である。

また、取組に対して証明する書類が必要となり、書類に記載される必要事項は、

- ① 居住者の氏名。
- ② 取組を行った年。
- ③ 取組に係る事業を行った保険者や事業者、市町村の名称または診察を行った医療機関の名称もしくは、医師の氏名である。

結果 全員一致で可決

福祉厚生委員会

小牧市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 今回の改正で選定療養費が義務化されるとのことだが、再診の定義は何か。また他市やその他の医療機関の状況はどうか。

答 今回の選定療養費の対象では、状態が安定し、大きな病院でなくても中小病院や診療所での診療・治療でよい患者さんに、そうした医療機関を紹介することを医師から申し出たにもかかわらず、患者さんがいかにこの病院にかけたいという理由で当院にかかる場合に毎回頂くものが再診の選定療養費である。

対象となる民間病院は、全て4月1日より実施している。公立病院は、県内では対象となる病院が当院を含め6病院あり、そのうち、春日井市民病院、豊橋市民病院は、すでに4月1日から施行されている。それ以外の陶生病院、一宮市立市民病院、岡崎市民病院は、10月1日の予定と聞いている。

結果 賛成多数で可決
(賛成6人・反対1人)

文教建設委員会

小牧市中小企業振興基本条例の制定について

問 条例制定後、具体的にどのような取組を行う予定か。

答 条例を効果的なものとしていく必要から、商工会議所、中小企業団体、金融機関、支援機関、大学、市民などの地域の主体へ、この条例を制定する目的などの周知を図り、理解をいただくことが重要であると考えている。そのため、中小企業にかかわる地域の各主体へは、直接訪問をして、条例の説明、中小企業振興の取組と条例の周知への協力をお願いする。さらに市民を始め幅広い方々に条例と概要を周知するため、市の広報や会議所の所報への掲載を行い、パンフレットを作成し、

公共施設に設置するなど、機会をとらえ配布していきたいと考えている。



条例のイメージ

結果 出席者全員一致で可決

予算決算委員会

平成28年度小牧市一般会計補正予算(第1号)

結果 出席者全員一致で可決

〈総務分科会〉

来春の認定こども園開設への迅速対応！

問 子育て支援対策基金事業費補助金は、なぜこのタイミングで補正予算を計上したのか。

答 待機児童の解消の対策として、本市では本年2月に小牧市待機児童解消実行プランを策定し、4月に開催された私立幼稚園の園長会にて、市内全私立幼稚園に説明をしたところ、旭ヶ丘第二幼稚園から、平成29年4月から認定こども園として運営していきたいという申し出を受けた。この補助制度に合致すること、平成29年4月に移行し開設しようとする、このタイミングで補正予算を計上する必要がある。



〈福祉厚生分科会〉

岩崎県宮住宅地内に2つの
福祉施設の建設決定

問 障害者施設整備事業で、岩崎に2施設を建設することとだが、事業所の内容と定員は何人か。

答 事業所のサービス内容は、入浴、排せつ、食事等の介助とともに、創作活動や、生産活動の提供を行う生活介護で18名。一般企業等で就労が困難な方に働く場を提供するとともに、知識や能力の向上のために訓練を行う就労継続支援B型で16名。一般企業等へ就労を希望する方に、一定期間就労に必要な知識、能力の向上のため必要な訓練を行う就労移行支援で6名。この3点が多機能型事業所である。

もう一つの共同生活援助等事業所は、共同生活を行う住居として、入浴、排せつ、食事の介助、相談等も含めた援助を行うものがグループホームで10名。また、障がい者の方を介助する方が病気になる、介助が困難な状況にあるとき、一時的に短期間施設に入所をして同様の介助を行う短期入所者4名である。

〈文教建設分科会〉

待機児童解消を目指し、
認定こども園への移行を支援

問 認定こども園化のメリットは何か、また、今後も認定こども園化を進めていく予定か。

答 現状の保育園では保育要件が必要のため、両親のどちらかが仕事をやめたりして保育要件を満たさなくなると退園の必要があるが、認定こども園では、教育要件の児童と保育要件の児童両方をお預かりするので、両親の働き方が変わったことによる退園はなくなる。今年2月に小牧市待機児童解消実行プランを策定し、市内私立幼稚園の認定こども園への移行支援を進めるとしている。また、そのモデルケースとして小牧市立第一幼稚園の認定こども園への移行も現在進めており、0・1・2歳児の受け入れ枠を拡大して待機児童解消に寄与するよう、今後私立幼稚園の移行を支援していきたいと考えている。



議会を傍聴しませんか

本会議及び委員会（常任・特別）は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。市民の代表である市議会議員の活動や市政の方針などを直接お確かめください。

手続きは、簡単です。東庁舎3階議会事務局までお越しください。さらに、本会議の様様については、本庁舎1階ロビーにて放映しています。

◆本会議・委員会ライブ中継・録画中継

○本市議会では、インターネットを利用し本会議（定例会・臨時会）及び委員会（常任・特別）の様子を視聴できるライブ中継をしていますのでぜひご覧ください。

○本会議（定例会・臨時会）及び委員会（常任・特別）の各日程およびその1週間後に録画映像を掲載していますので、小牧市のホームページからアクセスしてください。

○ケーブルテレビでも本会議（定例会・臨時会）をライブ中継しますので併せてご覧ください。



◇11月1日号議会だより表紙写真募集

〈募集する写真について〉

○テーマ 秋がイメージできる市内のイベントや風景等。

○応募期限 10月12日（水）まで。

○東庁舎3階議会事務局へお持ちください。（担当 長谷川・上岡）

〈注意事項〉

○応募は、市内在住・在勤の方のみです。

○応募写真は、編集委員会で誌面構成を考慮し、1枚掲載いたします。

（選考結果の報告はいたしませんのでご了承ください。）

○応募写真は、データでお持ちください。なお、著作権は市議会に帰属します。

○被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上で、応募ください。

○応募写真は、返却出来かねますので悪しからずご了承ください。

〈問合せ先〉 小牧市議会事務局

電話 76-1168

FAX 76-0360



小中学校教育現場のあり方について



無会派（牧政会）
木村 哲也

問 ①文部科学省の推進する「チーム学校」の視点から本市の教育体制の今後について問う。②小中連携教育への取り組みについて問う。③学校施設の地域拠点としての活用について問う。

答 ①本市では、心理の専門家などに加え、学校教育の様々な場面において、多くの地域の方々にサポートしていただいている現状である。今後も、学校で抱える様々な課題に対して、教員と配置した専門家や地域の人材が有機的に機能し合い、教員が本来の教育活動に邁進できる体制を整えることが大切であると考えている。

②小学校児童と中学校生徒の交流や、他校の授業研究など教職員の連携を進めている。

③現在の学校施設の形態は、地域拠点を目指したものでないため、様々な課題があるが、将来的な活用については、子どもの安全確保に十分に配慮する中で、関係機関と協議、検討していきたい。



安心・安全・安気なまちづくりについて



市民クラブ
小川 真由美

問 ①防犯対策については再三質問をしてきた。平成22年に全戸配布された防犯ステッカーは、「防犯の意識向上になった」と好評だった。一方で配布から6年が経過し「日光が当たるから色あせてきた。」との声が多い。防犯グッズ全戸配布の考え方はどうか。②防犯パトロールの成果や課題、生活安全パトロールと幅を広めた名称の考えを問う。

答 ①市内における刑法犯認知件数は、平成15年のピーク時から70・5%減少している。これは地域での主体的活動によるところが大きく、市としても地域の防犯対策を支援してきた結果であり今後も可能な限り防犯施策を行っていききたい。啓発品は、配布場所や配布のタイミング、配布の自身を考えると十分効果的に行うことが重要と考える。



②自主防犯パトロール団体は、夜間巡回パトロール等犯罪抑止に大きな成果をあげている。反面、活動の形骸化やメンバーの高齢化などの課題を抱えており活動を停止する団体もある。防犯パトロール団体の名称については「防犯」を明示し掲げること自体が犯罪抑止効果をもつことから、防犯という名称を使用していた

桃花台の現状から見えてくる課題について



牧政会
玉井 宰

問 魅力ある地域づくりとしての地元大学との連携について特に地域の活性化を含めて、若者との交流や地域住民と大学が交流できる仕組みづくりや大学にもメリットのある講座を実施してはどうか。

答 愛知文教大学、名古屋造形大学を始め地元大学とは、子どもの健全育成や都市基盤整備、地域交流など、学術研究の成果を活かした効果的な施策を連携事業により展開している。

講座については、各大学の強みを活かした内容の各種講座を開催しており、講師のサポート役として学生が参加する講座もある。地域住民は大学における質の高い講義を受講でき、大学は地域交流推進など社会貢献に寄与できるという、双方にメリットがあるこのような講座開催の仕組みを確立している。今後も地元大学と連携し、小牧の歴史や文化にちなんだ講座を開催し、講座での学習を契機に地域住民と地元大学との交流が一層活発になることを期待している。



緑のカーテンについて



市民クラブ
西尾 貞臣

問

地球温暖化の対策の1つとして、つる性の植物により緑のカーテンを設け、暑さ対策や涼しさの演出を図る実践があり、外部との関係を緩やかに調整する環境づくりには、緑のカーテンの設置がとても有効である。小牧市における緑のカーテンの実施状況及び緑のカーテンをどのように考えているか。

答

平成22年度から全小中学校において、県の「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」を活用して実施しており、さらに平成24年度からは公共施設において、小牧市緑化推進協議会によるゴーヤの苗等の配布事業と合わせて、保育園や市民会館、勤労センターなど約60箇所を実施している。そのほか市内行政区、私立幼稚園、民間企業など約120箇所でも、同様に同協議会の苗の配布事業を活用し、緑のカーテンの普及に努めている。

市では、第二次小牧市環境基本計画により、省エネルギー対策の推進を図っている。緑のカーテンは、節電や省エネ対策の面で有効な手段の一つとして、今後も引き続き普及啓発に努めていきたい。



今後の文化振興の推進体制について



牧政会
鈴木 英治

問

文化の振興は、地域活性化につながり、今後ますます重要な役割を持つ。第2次小牧市文化振興ビジョンの中間見直しの中で、文化振興の推進体制として文化振興財団の設立が示された。①背景や理由、②効果、③今後のスケジュールについて伺う。

答

①文化の分野・ニーズが多様化、高度化する中、行政主体の事業展開の難しさなどが指摘されており、それらの課題を解決する方策として文化振興ビジョンに財団の設立を明記した。②文化振興財団は、柔軟な経営手法を取り入れ、運営には文化団体・市民が幅広く参画し、文化振興の中心的役割を担っていく。専門人材の活用などにより企画の充実、さらに文化団体・市民とのつながりをコーディネートする。また、中長期的な企画立案や特色ある事業展開など魅力的な事業の実施につながる。③平成29年度の早い時期の設立に向けて準備をしている。ソフト・ハードを一体的に進めることが効果的であるため、平成30年度から市民会館などの管理運営を行う。現在の小牧市施設活用協会は、解散し、協会職員は財団に移るように調整を始めた。



食物アレルギー対策について



公明党小牧市議員
加藤 晶子

問

昨年3月文部科学省から「学校給食における食物アレルギー対応指針」が出され、安全確保のための取り組みの強化が示された。その中で、医師の診断による「生活管理指導表」の提出が求められているが市における活用状況はどうか。またエピベン注射使用のための保育士や教職員の講習への取り組みや緊急時の対応についてはどのように考えているか。

答

児童生徒の命を第一に考え、医師によって記載された学校生活管理指導表をよりどころとして児童生徒が安心・安全に学校生活を送れるような対応をしている。エピベン使用のための講習は、保育園においては、全職員を対象に、食物アレルギーに関する研修に行っている。小中学校においても実技研修に加え、医師を講師に招き、アレルギーに対する正しい知識と適切な対応について、研修を行っている。

保育園と小中学校では、緊急時に備え、緊急対応マニュアルを作成し、全職員に周知し、緊急時に対応している。さらに小中学校では、エピベンが処方されている児童生徒ごとに個別の対応マニュアルが作成され、エピベンと一緒に保管し、適切に対応できるように努めている。



地域防災・減災対策の強化について



公明党小牧市議員

稲垣 衿子

問

①防災・減災対策の担い手となる人材育成の研修会等の進捗状況はどうか。

②避難所での避難者の安全で快適な生活環境が考えられているか。③被災者に対する円滑な支援に必要な罹災証明書発行体制はどうか。



答

①緊急初動対策班員を含む3名の職員が、防災・減災カレッジを受講し、防災力の強化を図る。また、今年度から地域防災リーダー養成講座を開催し、防災ガイドブックを活用して、地域防災の担い手の育成を行なう。②避難所運営を、地域の皆さんに主体的に行っていたため、避難所運営マニュアルを作成している。マニュアルには、避難所建物の安全確認、防災備蓄倉庫や防災行政無線の場所等のほか、衛生面や食事面における留意事項、女性避難者に対する配慮、エコノミークラス症候群等の疾病予防に関する項目も記載していく。③平成24年度から罹災証明書の発行機能を有する総合防災情報システムを導入し、証明書発行体制の充実を図っている。また、罹災証明書発行のための現地調査をできるだけ早く行い、被災者が一日も早く生活再建に取りかかれるよう準備していく。

小牧市民病院の災害時の機能等について



無会派

高野 達夫

問

①災害拠点病院としての機能について。市民病院は災害拠点病院に指定されているが、大震災などの災害が発生した場合にどのような仕組みで動くのかを問う。

②災害が発生した場合の市民病院の体制について。市民病院では、この地方で大震災が起きたことを想定して配備体制や訓練などについてどのようなことを行っているか問う。

答

①市民病院は、平成8年に尾張北部地域の災害拠点病院として県から指定され、この地域で大規模な災害が発生した場合は、重症傷病者を受け入れる体制をとり、遠方で発生した場合は、市民病院のDMAT（災害派遣医療チーム）などを派遣する。②震度5弱以上の地震が発生した場合、職員は自主参集し、病院内に災害対策本部を設置し、医療の継続が可能な場合は災害医療を開始する。また災害時に、各職員がそれぞれの現場でいかに対応すべきかを習得することを目的とした地震防災訓練を、外部機関の協力を得ながら年1回実施している。



未来へのまちづくりの方向性について



牧政会

河内 伸一

問

人口減少、少子高齢化の進展が見込まれる中、高齢者でも歩きやすく健康で快適な生活を確保すること、子育て世代などの若年層にも魅力的なまちにすること、さらに、持続可能な都市経営を可能とすることが求められており、まち全体の構造を見直すことが必要と考える。①現在策定中の立地適正化計画とはどういったものか。②今後どのように策定が進められるのか。

答

①立地適正化計画とは、居住や都市の生活を支える機能の誘導によるコンパクトなまちづくりと地域交通の再編との連携による「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えに基づき、居住を誘導する居住誘導区域や生活サービス機能を誘導する都市機能誘導区域、誘導施設等を定め、区域外での一定の開発行為等には届出を義務付けるなど、緩やかな誘導策を講じる計画である。②学識経験者などにより構成される策定委員会や小牧市都市計画審議会を経て、計画案を整理し、12月にパブリックコメントの実施を予定している。その後、いただいた意見等を踏まえ、平成28年度末までに計画の策定、公表を予定している。

障害者差別解消法への対応について



牧 政 会
長 田 淳

問

①障害者差別解消法が公布、施行されたが、法律が禁止している差別はどのようなものか、また、相談及び紛争の防止のための体制の整備はどのように考えているのか問う。②法律を受けて市が策定した対応要領に関して、策定までの取り組み、具体的な内容について問う。

答

①法では、国の機関、地方自治体、民間事業者に対し「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮」を義務付けている。また、関係機関が情報の共有や協議を行い、地域全体で差別の解消に向けた取組みを行うため「障害者差別解消支援地域協議会」を組織できるとあるが、本市では委員構成や担う役割が密接な関係にある既存の障害者自立支援協議会の役割を充実させることでその機能を兼ね備えたものにしていく。

②障害者団体と意見交換を行い、職員の対応方法や具体例を確認しながら策定を進めた。内容では、監督者の責務、相談体制の整備、研修及び啓発について定め、差別に関する相談等に対応するため地域福祉課に相談窓口を置き、不適切な対応があった場合は是正措置、再発防止等を行う。



イノシシ被害対策について



政道クラブ
野々川 嘉則

問

①東部地区において、イノシシによる農作物被害が出ているが、市としてどのような対応をしているか。②駆除及び防除への市の取組と、捕獲駆除の実績はどうか。③イノシシの出没が多くなり防止対策が必要と考えるが、地区において防止柵等を整備した場合、助成金や支援金等の対応は可能であるか。



答

①住民の方から出没の情報提供を受け、市職員、警察、小牧市猟友会の会員とともに捕獲等に出向いている。また、イノシシに関するチラシの回覧とともに、市ホームページで情報を掲載するなどしてイノシシへの注意喚起を促している。②小牧市猟友会と有害鳥獣駆除の委託契約を締結し、1年を通じた対策を講じている。また、大型の箱ワナを、野口・大山地区に配置している。イノシシの駆除実績は、平成25年度は捕獲実績は無く、平成26年度は6頭、平成27年度は10頭となっている。③野口・林・大山・大草の4地区には、国、県、市で助成している農業農村多面的機能支払事業の活動の中で、新たに地域が共同で管理する場合に限り、防止柵の購入と設置及び維持管理活動が交付金の対象となるので、防除活動につなげていただきたいと考えている。

介護保険制度について



日本共産党小牧市議団
安 江 美代子

問

①消費税10%への引き上げが延期されるが、現在の第1段階の人に対する保険料の軽減は、平成29年度はどのようなものか問う。

②これまでの制度は、要支援認定者には必要なサービスの質と量が担保されていたが、新しい総合事業は保険給付を抑制するためにサービスの質と量を低下させる事業だ。しかも、お金の負担のできる人とできない人との格差も生まれる事業だと思うがどうか問う。③総合事業は認定が必要なくなり相談に来た人に基本チェックリストで判断することになる。介護認定申請を封じ込め、総合事業に誘導する危険がある。公平性・透明性はどう担保されるのか問う。

答

①第1段階の人に対する保険料の軽減は、平成27年度及び平成28年度に限定しており、平成29年度の保険料については軽減が実施されない状況になっている。

②事業者の人員基準の緩和や報酬単価の設定、新たなサービスの内容と質を確保する仕組みを構築するため、選択の幅が広がると考えている。③介護サービス利用の相談があれば、まずは、これまで通り介護認定の説明を行う予定であるので、介護認定申請を封じ込めることにはならない。

スポーツ選手の育成支援について



牧 政 会
稲垣 守

問 ①小牧市としてどのようなジュニア育成事業を行っているのか。②小牧市として活躍している選手等へどのような支援をしているのか。③NHK杯を制し活躍している寺本明日香選手のオリンピック出場が決定した場合、市としてどのような支援を考えているのか。

答 ①小中学生を対象に幅広くスポーツに親しむ環境を提供するため、ジュニア育成活動に取り組んでおり、スポーツ人口の裾野の拡大を図るとともに、子どもたちの心身の健全な育成に寄与したいと考えている。

②市内在住、在勤、在学者を対象に、全国大会等に出場する選手に対して激励費を支給し、市広報のほか新聞各紙にも情報を掲載していただき、市民の皆様ほか数多くの皆様にその活躍をお知らせしている。

③懸垂幕、横断幕の掲出のほか、市として寺本明日香選手を激励するための壮行会の開催や、オリンピック期間中のパブリックビューイングの実施など、市民の皆様と一体となり寺本選手を応援していきたい。



新木津用水路改修事業について



政道クラブ
熊澤 敏

問 ①毎年、浸水被害が心配されている久保・久保一色地区の工事施工時期は、いつ頃になり、また、今年度の本市の工事予定はどの区域になるのか。②新木津用水路に合流する準用河川の改修計画はあるのか。③事業に伴い、地域からの橋りょうや堤防道路の要望が挙がっていると思うが、今後の計画はどのようなになるのか。

答 ①施工時期について事業主体の国に確認したところ、久保・久保一色地区の工事は、流下能力の向上を図るため、一級河川薬師川と新木津用水路との河川共用区間の河床を掘り下げる必要があり、平成31年度から34年度の予定とのことである。今年度の工事予定は、下末及び二重堀地区である。

②準用河川の後川及び佐久間川については、新木津用水路改修の時期に合わせ、それぞれの合流部の改修を計画している。

③大山市境付近の御伊勢橋及び久保一色の金六橋は、橋りょうの架け替え計画はないと国から聞いているが、地元の要望を踏まえ、国と橋りょうの拡幅に向け、検討、協議を行っている。また、堤防道路については、現況より狭くなることのないよう、既存の用地幅のなかで最大限の幅員を確保できるよう要望していく。

特別養護老人ホーム「幸の郷」の開設に伴う高齢者福祉について



牧 政 会
船橋 厚

問 小牧市内の施設としては5番目の大規模な特別養護老人ホームで、見学会で拝見させてもらったが、家庭に近い環境の中で暮らすことができるように至る所に配慮が見られた。①「幸の郷」への入居応募状況などについて伺う。

②今後開設予定の南部地域の地域包括支援センターの体制や開設時期について伺う。

答 ①北外山地区に開設された特別養護老人ホーム「幸の郷」の入居定員は、100名であり、現在の入居申込者数は、137名で、このうち小牧市民は66名と聞いている。

②特別養護老人ホーム「幸の郷」では、市内5番目となる小牧南部圏域を対象とした地域包括支援センターを平成29年4月開設の予定で調整している。職員配置は、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員など各1名と認知症地域支援推進員1名を配置し、合計4名の体制を考えている。業務については、現在この圏域を担当する小牧市社会福祉協議会と「幸の郷」の運営法人、市で今後開設に向けて協議を進める。



幸の郷 正面入口



政道クラブ

谷田 将典
やたが い まさゆき

問

①保育の問題について、昨年議会です待機児童問題の質問をしたが、現在の待機児童数とゼロにする対策をシヨッピングモール内小規模保育所設置の提案と合わせ問う。②介護の問題について、超高齢社会により、2020年初頭に介護人材は約25万人不足すると予想。介護職員は、賃金が低く、仕事がつきつとの声が多いが、市における介護職員の処遇改善内容を問う。

答

①4月1日現在の待機児童数は27人である。待機児童解消実行プランのもと、小規模保育事業者を3箇所公募中で、最大57人の受入枠拡大となり、今年度中の解消を見込んでいる。しかし、1歳から預ける傾向が続く、楽観できない。議員の提案も、必要に応じ参考とし、早期解消を目指す。②介護職員の処遇改善には、賃金の改善、教育・研修の充実、職場環境の整備などがあり、基本的には国の施策と考えている。本市では、介護職員の質の向上を図るため、市主催による研修会を毎年開催し、教育・研修の充実に力注いでいる。

待機児童ゼロ!!



政道クラブ

丹羽 浩
に 羽 ひろし

問

本年4月に熊本地震が発生し、多くの方が被災された。本市では南海トラフ地震と想定濃尾地震を警戒しており、現時点における災害への備えについて、①本市における被害想定。②避難所の収容人員及び食糧、日用品等の備蓄状況。③市民に対して災害に対する自助努力を促す啓発・指導をどのようにしているのか問う。

答

①昨年7月に公表した地震被害想定調査結果では、主な被害として、建物の全壊棟数が約2700棟、半壊棟数が約8600棟、避難者は最大で約19300人と推計している。②地震避難所40箇所の収容人員は、約17000人を想定している。備蓄品は、避難者数を人口の1割として、飲料水、3食分の食糧等を保管しているが、今後、地震被害想定調査結果に基づき、備蓄計画の見直しを行う。③防災・減災講習会、防災訓練、水防訓練等で防災啓発を行っているほか、本年4月、各世帯に地震・風水害への備えを記載した「小牧市防災ガイドブック」を配布し、各家庭で防災への取組をしていただくよう防災啓発に努めている。

小牧市 防災ガイドブック



市民クラブ

小沢 国大
こ 沢 くにち

問

①検証のためモデル地区の導入を検討すべきではないか。
②戸別収集を実施した場合のコストはどれくらいか。
③将来的なごみの有料化についてどう考えているか。

答

①戸別収集の問題は、ごみの有料化も合わせて慎重に検討すべきであり、戸別収集導入に伴う経費増を誰が負担するのか、ごみの有料化をどうするのかについて、市民も巻き込んだ議論がされていない本市の現状で、モデル地区の実施は考えていない。②他市の状況から収集コストが4割増加すると試算しており、燃やすごみの場合、収集委託料が年間約7千8百万円増加すると試算している。破碎ごみは市の収集のため、算定が難しいが、資源も含め全ての品目で導入した場合、収集委託料が年間約1億4千9百万円増加すると試算している。③国のごみ有料化の推進の方針に基づき、いずれは検討すべきと考えているが、受益者負担に対する市民の理解が不可欠で、市民も巻き込んだ十分な議論と説明が必要のため、今後の検討課題と考えている。



その他の質問

- 放課後児童クラブのあり方
- 中部公民館やプラネタリウム
- こまき巡回バス
- (仮称)農業公園の鷹ヶ池
- 小牧市国際交流協会
- 多文化共生協議会
- 行政の透明性及び体制の充実
- すべての人々が安全快適で円滑に移動できる道路空間の確保
- 改正発達障害者支援法への対応
- 児童・生徒の通学路の歩道整備
- オスプレイの小牧基地への飛来
- 田縣神社豊年祭の今後の利活用
- 資源回収
- 夢・チャレンジできる子ども達の体力づくり
- 家庭の日

(木村 哲也)
(小川真由美)
(西尾 貞臣)
(西尾 貞臣)
(西尾 貞臣)
(西尾 貞臣)
(西尾 貞臣)
(高野 達夫)
(長田 淳)
(野々川嘉則)
(安江美代子)
(熊澤 一敏)
(船橋 厚)
(小沢 国大)
(小沢 国大)

丹羽 浩議員ご逝去



丹羽 浩議員(63)が、去る6月25日にご逝去されました。故丹羽 浩氏は、平成23年10月、市議会議員に初当選されて以来、今期で2期目をお務めでしたが、任期途中で急逝されました。在職中は、小牧駅周辺活性化委員長、文教建設副委員長などを歴任されました。ここに、哀悼の意を捧げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

暑中見舞い等差出し自粛にご理解を!

今年も暑中見舞いの時期となりました。市議会では、公職選挙法を遵守して、暑中見舞い等の差出しの自粛を申し合わせています。市民皆様のご理解を賜りますようお願いいたします。

次回定例会のお知らせ

- 9月5日(月) 本会議(招集日)
 - 9月13日(火) 本会議(一般質問)
 - 9月14日(水) 本会議(一般質問)
 - 9月16日(金) 本会議(一般質問)
 - 9月20日(火) 総務委員会
 - 9月21日(水) 福祉厚生委員会
 - 9月23日(金) 文教建設委員会
 - 9月27日(火) 予算決算委員会
 - 9月28日(水) 本会議
 - 10月3日(月) 本会議(最終日)
- 日程等は、招集告示日に開催される議会運営委員会において正式に決定されます。
●議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

常任委員会行政調査報告

◎委員長 ○副委員長
総務委員会

(◎)小川真由美、(○)安江美代子、
谷田員将典、野々川嘉則、木村哲也、
稲垣裕子、長田 淳、河内伸一、
澤田 勝己)

5月11日(水) 東京都足立区 老朽家屋対策事業とごみ屋敷 対策について

①老朽家屋対策
「何かあつてからでは遅すぎる」との思いから老朽家屋等の適正管理に関する条例を制定。実態調査を行い、危険解消に向け本事業を開始。行政代執行は設定せず、所有者合意を優先しています。

②ごみ屋敷対策

治安の悪いイメージ払拭のため「ビューティフル・ウィンドウ運動」の中で対策を開始、専門組織を設置。行政代執行はありますが、原因に着目し、原因者のアフターケアを実施。「福祉施設等に入居され、今は幸せに暮らしています」との言葉が印象的でした。

③課題

- 官民連携深化
- 所有者不明物件調査
- 空き家対策があります。



5月12日(木) 埼玉県さいたま市

さいたま方式の公共施設マネジメントについて

- ①公共施設マネジメント方針
次の二大方針で推進しています。
- 複合化の「ハコモノ三原則」
- 長寿命化の「インフラ三原則」
- ②公共施設マネジメント白書
公共施設の52%が築30年以上、現状維持更新予算の2・2倍が必要という試算になりました。
- ③公共施設マネジメント計画
「すこしずつがまん」「できるだけ工夫」「じょうずにやりくり」を市民に周知。公共施設整備事前協議制度を導入、コストを1・1倍まで縮減できる見込み。
- ④取り組みの推進

公民連携の主な事例

- PFI事業
- 提案型公共サービス公募事業化
- 公民連携コミュニケーション

市民協働の主な事例

- 学生作マンガパンフレット出前説明会
- 市民参加ワークショップでの施設複合化改修プラン作成
- シンポジウム開催など。



福祉厚生委員会

(○)鈴木 英治、○加藤 晶子、熊澤 一敏、小沢 国大、高野 達夫、佐藤 大輔、舟橋 秀和、玉井 宰)

5月17日(火) 広島県尾道市 地域包括ケアシステムについて

尾道市の地域医療連携「尾道方式」は急性期病院と開業医が一体となった、主治医機能を核とした在宅の地域医療連携を基盤とした治療を行っており、生活の質に重点を置いた、保険・医療・介護・福祉の多職種協働による利用者(患者)本位の長期的支援システムで運営を行っています。

また医療関係だけではなく、社協や民生委員児童委員、公衛協等との連携を平行して行うことにより、地域で重層的に支えることも行っていました。特徴的だったのは、そのカンファレンスで退院前には多職種協働にて行い、「患者」から「日常生活者」へ移行していくために必要な情報の共有と治療・ケアの連携計画を立て、患者の方を医療依存型から地域自立型に移行するとの事でした。



5月18日(水) 香川県高松市 新市民病院について

高松市は平成17年度に近隣町と合併をして香川県を東西に分断する程に大きくなり、高松市民病院・香川診療所・塩江分院の3医療施設を運営する事になった。北部の市街地では多くの医療施設が点在し競合しているが、南部の塩江地区に関しては医師不足・僻地医療としての拠点として等、其々の医療施設で諸問題を抱えている中で市民病院の老朽化からの建て替え問題が出てきました。

そこで現市民病院から8km程南下した農業試験場跡地に香川診療所を合併した新市民病院を建設する運びとなったが、隣接する県道からの導入路線の整備等に時間が掛かり約4年遅れの供用開始予定となりました。

この4年の遅れにより、現市民病院の医療機器の入替や医師・看護師のモチベーション低下による他医療施設への流出等の諸問題が出てきた。建設計画の遅れはソフト・ハード両面に大きな影響を及ぼすとの事でした。



文教建設委員会

(○)稲垣 守、○丹羽 浩、稲垣美佐代、西尾 貞臣、船引嘉明、小島 倫明、橋本 哲也、船橋 厚)

5月19日(木) 東京都文京区 文京区版ネウボラ事業について

文京区では、核家族や地域のつながりの希薄化等により、父母の不安や負担が増えている社会背景のもと、「妊娠から出産・子育て期にわたる切れ目の無い支援」を行うためのネウボラ事業を行っており、事業は、保健センターから保健師を「母子保健コーディネーター」として配置し、産前・産後のサポート事業として、「ネウボラ相談所」を設置し、相談・支援を実施。サタデーパパママタイムで、パパを含めた交流等で孤立感の解消。保健師等による妊婦全数面接を行うなど、すべての妊婦の状況を継続的に把握することで、支援プラン作成・関係機関との調整・きめ細やかな支援を行ってまいります。事業施行後、出生数が4割増えています。



5月20日(金) 神奈川県綾瀬市 三世代ファミリー定住支援補助金について

報告の目的は、本年度施行の住みたくなる小牧の若年世代の定住促進施策の先行事例で、同市での施行調査をしました。その効果は、子育て世代が出産や子育てに安定感を持てること。経済的負担の軽減や高齢者の孤立防止に繋がるとのことでした。

総事業費は、平成27年度1000万円、内訳は住宅取得補助、リフォーム工事補助、3年以上の定住補助。この制度による転入者数は28名。本年度は、6件の申請有りとのことでした。

本年度は、社会的好循環モデルの安定した出産育児支援・虐待不安や悩み対策・夫婦の経済的自立支援施策と絡めて、住宅取得は昨年度以降の契約分も対象とし、総事業費1350万円に拡大しております。

(我が市は、同居60万円、近居20万円上限のみ)

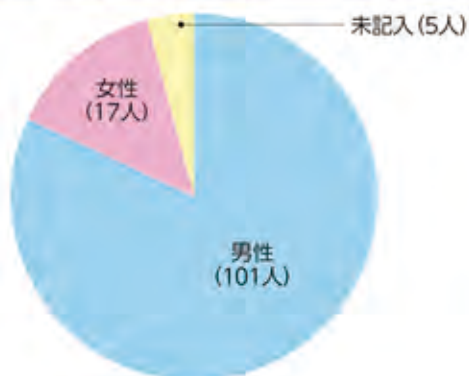


特集『議会報告会と市民の意見を聴く会』のまとめ

平成28年4月23日・5月21日実施

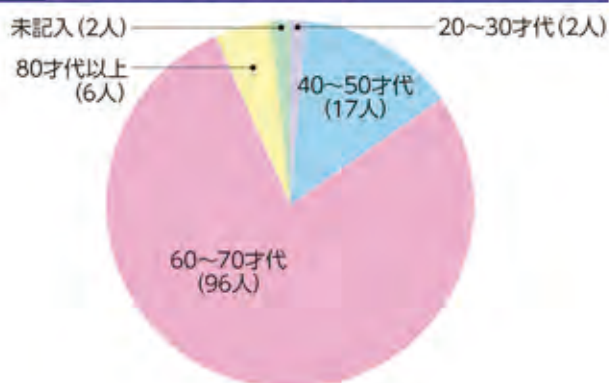
今回は、一般選挙後、初の開催となりました。
 たくさんのご参加をいただきまして誠にありがとうございました。
 第2部では皆様からの意見をたくさん伺うことができました。
 これからもより良い報告会・意見を聴く会にしていきたいと思います。

問1 参加者性別(アンケート分)

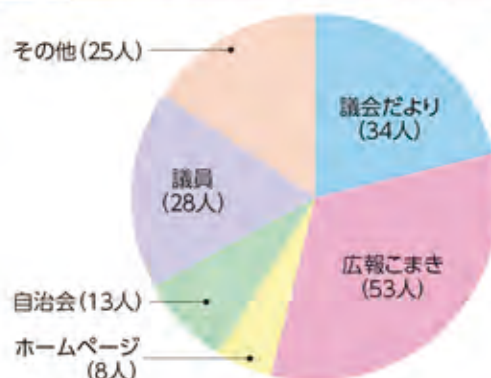


- 参加者数 146人
 (各会場内訳)
 味岡市民センター 41人
 公民館 35人
 北里市民センター 34人
 東部市民センター 36人
- 市民アンケート回答数 123人
 回収率:84.2%

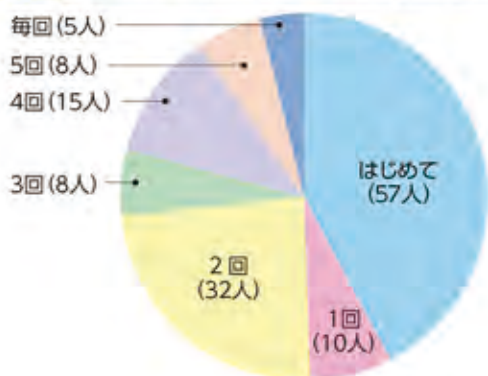
問2 参加者年齢(アンケート分)



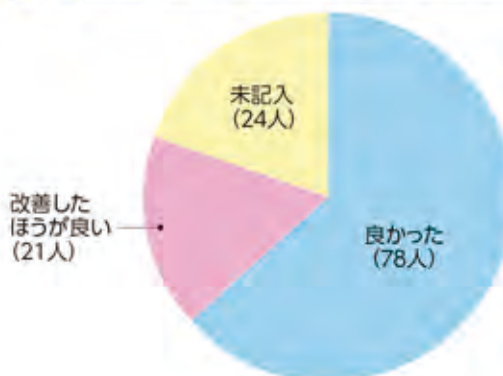
問3 議会報告会を知ったきっかけ(アンケート分・複数回答含む)



問4 過去に議会報告会に参加した回数(アンケート分・複数回答含む)



問5 「市民の意見を聴く会」をどのように感じたか(アンケート分)



テーマ別にいただいた意見について(抜粋)

『図書館』

- 1 ここで出た意見を審議会に反映していく方法を考えてほしい。
- 2 えほん図書館は好評。小さい頃から本に触れた分、情緒豊かに育つので、本にふれあう機会を増やす工夫を望む。
- 3 現図書館本館を改修したら費用が少なくて済む。
- 4 東部・味岡・北里の図書室をもっと充実してほしい。
- 5 図書館建設よりも中身の図書が大切だ。小牧にしかない図書を収集していけば、魅力作りになる。
- 6 駅前にコンパクトで機能的な図書館を作してほしい。
- 7 設計から業者任せや営利目的の運営は避けること。



『市民病院』

- 1 医者がパソコンを打ちながら患者の話を聞いているが、きちんと患者の顔を見て診察してほしい。その方が安心する。
- 2 健診センターで受ける人間ドックの枠を増やしてほしい。
- 3 新病院になると待ち時間の短縮化は、はかれるのか。
- 4 (聴覚障がい者の方から) 音声だけでなく文字や番号で表示してほしい。レントゲン室で手話通訳などを同行できないものか。
- 5 医者のローテーションが早すぎる。同じ医者にじっくり見て欲しい。
- 6 救急車で運ばれる際、味岡地域はさくら病院、篠岡地域は春日井市民病院に連れて行かれることが多い。小牧市民なのだから小牧市民病院に運んでほしい。





『地域の課題・その他』

- 1 地域協議会が進まない理由を調査するべきだ。
- 2 自主防災訓練は、今年9小学校区で実施する予定。
訓練の内容を充実するために協働推進課と消防との連携をうまく取ってほしい。
- 3 市が民間施設と連携を取って避難所を開設してほしい。
- 4 「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」は不評である。もう少し子どもたちに残る予算がほしい。
待機児童をなくすよう保育園を作るなど。
- 5 車道・歩道等のインフラ整備を早急にしてほしい。
- 6 交通安全指導員を増員してほしい。みどりのおばさん復活を希望。

議会に対する意見・提言(アンケートへの記入分)

- 1 より多くの参加者を集める努力をしてほしい。
- 2 今回要約筆記の方がついていただき、非常に良かった。
- 3 市民から出た行政要望は必ず受け止めて市へ伝えてほしい。
- 4 議会基本条例に定められた趣旨に沿って、議会活動・議員活動をお願いします。



皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご要望を今後の議会活動などに反映してまいります。